

## 記事内容

- ☆2023春季生活闘争開始宣言
- ☆連合緊急アクション全国キャラバン/2023春季生活闘争世論喚起街宣行動
- ☆ミニマム賃金
- ☆第1回地協議長・事務局長会議/第20回統一地方選挙推薦候補予定者7次
- ☆組合役員教育プログラム実務講座
- ☆パワーアップセミナー開催/3.8国際女性デー
- ☆3月の行動日程/ときわ会館お知らせ
- ☆あけぼのビル

## 2023春季生活闘争スタート!

～くらしをまもり、未来をつくる。～

2023春季生活闘争は、2月15日より先行中核組合が要求書提出をおこない、本格的な労使交渉がスタートしました。連合埼玉は、先立つ2月7日(火)、大宮駅東口にて「2023春季生活闘争・闘争開始宣言集会」を開催し、組合員のみならず広く県民の皆さんに、今春闘の重要性や春闘に臨む決意を訴えました。

集会の冒頭、近藤会長より、「昨年来『コロナ禍・物価高・円安』が私たちの日々の生活を苦しめ続けて、特に弱い立場・不安定な立場にある方々の雇用と生活に深刻な打撃を与えている。

昨年2022春季生活闘争では、コロナ禍にあっても中期的視点を持ち、未来への一步を踏み出す決意を込めて“未来づくり春闘”を掲げ、取り組んだ。『未来づくり』とは、経済成長や企業業績の後追いではなく、産業・企業、経済・社会の活力の原動力となる「人への投資」を起点として、現在の延長線上にある未来を変え、経済の好循環を力強く回すことをめざすものです。

2023春季生活闘争でも、この“未来づくり春闘”の基本的なフレームは変わることはなく、急性インフレと慢性デフレが重なった物価上昇への対応という新たな要素を加え、23春闘の方針を組み立てた。

デフレマインドがこびりついた、停滞と地盤沈下のステージから積極的な「人への投資」で実質賃金が継続的に上昇し、経済が安定的に上昇するステージへと変えていくことができれば、分配構造の転換を推し進めることができると考えている。“未来づくり春闘”を進化させ、みんなの力で社会を動かし、未来を切り開いていきたいと思います。そのためには、働く仲間の力を結集し、社会的なうねりをつくらなければならない。連合は、その先頭に立って運動をけん引していく」と挨拶がありました。

その後、高井・竹内・今井・小林・金谷副会長と前原副会長職務代行による、各構成組織の春闘要求内容に関する説明と決意表明をおこない、平尾事務局長による連合緊急アクションのアピール、山本まさの県議による政策・制度実現に向けたアピールをおこないました。その後、二階堂副会長による闘争開始宣言をおこない、最後に近藤会長によるガンバロー三唱で集会を終了しました。

引き続き皆様の注目をお願いいたします。



挨拶する近藤会長



高井副会長



竹内副会長



今井副会長



小林副会長



金谷副会長



前原副会長職務代行



山本県議



開始宣言 二階堂副会長

## 連合緊急アクション 全国キャラバン

### ラッピングカーによる街宣行動

連合は、急激な物価高を受け12月～4月の間で「連合緊急アクション」を展開しています。

その取り組みの一つとして、真っ赤なラッピングカー（計6台）で全国各地の街宣による全国キャラバンに取り組んでいます。

埼玉県については、2月4日（土）～8日（水）にかけて県内を走行しながらの街宣をおこないました。走行したエリアは、4日北部地域、6日東部地域、7日南部地域、8日西部地域で走行し、7日については、大宮駅東口でおこなった「春闘開始宣言」の駅頭街宣行動にも参加しました。多くの皆様に真っ赤なラッピングカーを目にしていただけたと受け止めています。

また、計6台のラッピングカーの走行については、すべて新産別運転労働組合（新運転）の皆さんにドライバーを務めていただきました。安全運転に努めていただきありがとうございました。

全国キャラバンは終了しますが、引き続き「賃上げ実現・暮らし支援」に向けて取り組んでまいります。



秩父神社



深谷アウトレット前



岩槻人形博物館



大宮駅東口



時の鐘



角川武蔵野ミュージアム

## みんなの力で社会を動かし、未来を切り拓いていこう！

### ～2023春季生活闘争 世論喚起街宣行動～

連合埼玉および県内12の地域協議会では、あらゆる機会を捉え、2023春季生活闘争の重要性・必要性を訴え「底上げ」「底支え」「格差是正」をすべての労働者へ波及させるため、「05（れんごう）の日」「連合緊急アクション」と連動した社会運動としての取り組みを以下のとおり推進していきます。

#### 世論喚起街宣行動（連合埼玉）

- ◇1次行動 春闘開始宣言  
2月 7日（火）18:00～ 大宮駅（東口）
- ◇2次行動 春闘開始宣言  
3月 7日（火）18:00～ 大宮駅（東口）
- ◇4次行動 中小・地場組合解決促進アピール  
3月23日（木）18:00～ 川越駅（東口）  
3月24日（金）18:00～ 南越谷駅（南口）  
3月27日（月）18:00～ 熊谷駅（北口）  
3月28日（火）18:00～ 川口駅（東口）  
4月11日（火）18:00～ 大宮駅（東口）

#### 世論喚起街宣行動（地域協議会）

- ◇1次行動 一斉労働相談・春闘開始アピール  
2月8日（水）～2月22日（水）  
ポスティングや駅頭にて実施
- ◇2次行動 ミニマム賃金アピール  
3月8日（水）～3月24日（金）  
県内各駅頭



# 中小企業で働く人の賃金格差是正をめざす

## 【2023春季生活闘争・地域ミニマム運動】

中小企業労働者の賃金格差を是正するため連合埼玉では、「〇〇円以下の賃金をなくす」ことをめざし、「地域ミニマム運動」を推進しています。20歳～45歳(5歳毎)に基準を示し、個人の位置付けの確認や各労働組合の指針となるよう、また世論喚起含め、誰からも水準が理解される金額を設定し、35歳をポイントとしてミニマム賃金を設定しています。

2022年の県内で働く6,199名の個別賃金調査を実施し、以下の前提条件や個別賃金調査データに基づきミニマム賃金を設定しました。

**連合埼玉ミニマム賃金 35歳 228,000円**

### 【前提条件】

- ①賃金実態調査結果の製造業・男女の「第1十分位回帰値」を基本目安とし設定する。
- ②埼玉県的生活保護水準(1級地-2…所沢市、蕨市、戸田市、朝霞市、和光市、新座市)を下回らないことを考慮する。

### 【2022年個別賃金および2022ミニマム賃金設定額】

年齢	平均賃金	第9十分位	中位	第1十分位	22ミニマム	第1十分位差	23ミニマム
20歳	178,832	183,810	178,700	170,700	169,000	▲1,700	171,000
25歳	207,747	234,460	206,400	185,300	193,000	7,700	193,000
30歳	245,649	289,467	243,700	202,860	210,000	7,140	210,000
35歳	274,922	336,757	270,414	219,985	228,000	8,015	228,000
40歳	307,141	380,476	307,282	235,098	240,000	4,902	240,000
45歳	312,617	394,721	304,950	240,000	261,500	21,500	261,500
1歳間差	5,351	8,436	5,050	2,772	3,700	—	3,620

20歳については、22ミニマム賃金(20歳)と比較して、第1十分位が1,700円上回っていることから、20歳の年齢ポイントのミニマム賃金を2,000円引上げ、そのほかの年齢ポイントについては、昨年と同額の設定とする。

### 【今後の取り組み】

春闘3次行動として連合埼玉・地域協議会にて、経営団体、商工会議所および商工会などへミニマム賃金の要請をおこないます。

#### 1. 経営団体への要請

日 時:3月13日(月)～24日(金)  
 要請先:埼玉県経営者協会  
 埼玉県中小企業団体中央会  
 埼玉県商工会議所連合会  
 埼玉県商工会連合会  
 中小企業家同友会  
 要請者:連合埼玉

#### 2. 地域商工会議所および商工会への要請

日 時:3月13日(月)～24日(金)  
 要請先:各地域商工会議所  
 各地域商工会  
 要請者:地域協議会

## 全国初の協定が「取引の適正化」を進める

～ 2023年度第1回地協議長・事務局長会議を開催 ～

1月31日(火)あけぼのビル501会議室において、12地域協議会より21名が参加し、2023年度「第1回地協議長・事務局長会議」を開催しました。

冒頭、近藤会長より「埼玉県では、昨年9月に全国で初めて、産・官・金・労の全12団体で『価格転嫁の円滑化に関する協定』を締結しました。このような埼玉での

取り組みを、全国に広げることが『取引の適正化』や『パートナーシップ構築宣言』の実効性を高めることに繋がり、非常に意義のあることであり、評価できるのではないかと思います。

また、統一地方選挙では、4月の投票日までの間、連合埼玉の推薦候補者をイベントなど様々な機会で紹介し、組合員に周知と投票率の向上を訴えていただきたい」と挨拶がありました。

議事では、年間の主要活動をはじめ地協交付金、2023春闘の各種行動、政策・制度学習会開催、政治センター関係、連合埼玉HPへの地協活動報告掲載、会員専用HP、地域メーカーの開催など、当面の地協運営の課題・情報について確認・共有をしました。



挨拶をする近藤会長



会議の様子

## 第20回統一地方選挙 候補予定者(7次)の推薦決定!

～推薦候補予定者全員の勝利をめざして～

### 埼玉県議会議員選挙

草加市(南第1区)



**こもり 克己**

立憲民主党 新

吉川市・松伏町(東第12区)



**岩田 京子**

埼玉県市民ネットワーク 新

桶川市(南第14区)



**稲垣 まさよし**

無所属 新

#### 選挙日程

##### ■県議会議員選挙

告示日 3月31日(金)

投票日 4月 9日(日)

##### ■さいたま市議会議員選挙

告示日 3月31日(金)

投票日 4月 9日(日)

#### 選挙日程

##### ■市議会議員選挙

告示日 4月16日(日)

投票日 4月23日(日)

##### ■町議会議員選挙

告示日 4月18日(火)

投票日 4月23日(日)

討議資料

# 4年振りのリアル開催で「共感」が生まれる

## 組合役員教育プログラム実務講座

1月14日(土)から2月1日(水)にかけて、全6講座の組合役員教育プログラム実務講座を開催しました。本年度の受講者数はのべ66名となり、1名が実務講座を修了しました。また、9年間の実務講座の受講者数はのべ691名となりました。

実務講座は2020年に新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、2021年～2022年はWEBにて開催しました。4年振りにリアル開催が実現したことでグループディスカッションを多数取り入れ、講義がすすめられました。講師や受講生が対面することで「共感」が生まれ、活気のある講座となりました。

講師から効果的に教育効果を高めるための3つのポイントとして、「①楽しむ＝リラックス＆スマイル ②参加する＝本音で考え、語る ③仲間をつくる＝その後、どう？と言える関係をつくる」重要性が語られ、受講者は講義に臨む姿勢を確認してプログラムは始まりました。

**1月14日(土) 14:00～18:00 講師:池上元規**

### 【三六協定の実務(時間外労働と休日労働)】

なぜ労働時間管理が必要、なぜ働く時間は法律で決められているの、三六協定とはどんな協定、休日・休暇のルールなどについて学びました。

**1月18日(水) 14:00～18:00 講師:大川 守**

### 【団体交渉・労使協議会の進め方】

団体交渉・労使協議の進め方の概要、団体交渉・労使協議のめざすべき方向性と手法、説得するためのテクニック、「この相手なら」と思わせる方法などについて学びました。

**1月21日(土) 14:00～18:00 講師:大川 守**

### 【労働組合が取るべき経営対策とは?】

これまでの経営対策の限界、労働組合が取り組むべき経営対策、経営対策6つの基本活動、労働組合が取り組む人材育成などについて学びました。

**1月25日(水) 14:00～18:00 講師:池上元規**

### 【メンタルヘルスと職場での取り組み方】

ストレスの仕組みと対策、「精神疾患」増加原因の3要素、メンタルヘルス対策の現状と課題などについて学びました。

**1月28日(土) 14:00～18:00 講師:大川 守**

### 【キャリア開発(より良い働き方を考える)】

組織内におけるキャリア開発の必要性、成功につながる5つの行動指針、自分のキャリアビジョンの見つけ方、キャリア支援センターとしての労働組合の役割などについて学びました。

**2月1日(水) 14:00～18:00 講師:池上元規**

### 【ミッション・ビジョンの重要性(過去から未来へ)】

労働組合にビジョンが必要な理由、運動方針・活動計画との連動、組合員への「浸透方法」などについて学びました。

組合役員教育プログラムは、自組織にて役員教育をおこなうことが難しい中小労働組合を対象に役員教育の支援を目的として開催しています。より多くの組合役員が本プログラムを学ぶことでレベルアップをはかり、労働組合活動の活性化、県内の労働運動の充実・発展につながっているものと確信しています。

5月から「基礎講座」、7月には「スキルアップ講座」を開催します。引き続き、多くの方の参加をお待ちしております。



講師:大川守氏



講座の様子



講師:池上元規氏

## 未来をつくる転換点とする春季生活闘争に向けて

## ～2023春季生活闘争パワーアップセミナーを開催～

1月29日(日)と2月5日(日)の2日間で「2023春季生活闘争パワーアップセミナー」を開催しました。今回は、29日に16名、5日に13名の皆様に参加いただきました。

セミナーの冒頭、労働政策委員会委員長の二階堂副会長より「今年の春闘は、急激な物価高に対し、労働者の生活と働きの価値に見合った賃金水準にするべく賃金の引き上げが例年以上に求められている。本日のセミナーを今後の交渉に生かしていただき、賃上げの流れを継続していきたい」と挨拶がありました。

その後、午前中については、柿沼副事務局長より「連合白書」や「2023経労委報告」を中心に取り巻く環境や春闘方針、企業側の春闘に向けた考え、交渉に向けた心構えなどが解説・説明がされました。

午後からは、公認会計士の金森 俊亮氏から財務分

析について講義がありました。講義では、財務諸表の見方から始まり、安全性や効率性についての財務分析の手法が紹介され、最後にはグループワークによる財務分析をおこない、すぐに活用できる企業の財務分析を学んでもらいました。

参加者からは「非常に参考になった」「今日学んだ分析方法を早速活用する」などの声がありました。

連合埼玉では、今後の交渉状況を共有するなど加盟組合の交渉支援をおこなっていきます。




二階堂副会長





講師: 金森氏

## 3.8国際女性デー





今こそChange, Challenge, Movement! ～社会のすべての仕組みにジェンダーの視点を～



1857年3月8日、ニューヨークの被服工場働く女性達が低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが「3.8国際女性デー」の起源です。

その後、国連においてこの日は、「女性の権利と平等のために闘う記念日」と位置づけられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と女性の尊厳、人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、今も世界各国で様々な行動が展開されています。

連合も一緒に行動します。

## 〈今後の予定〉

## 3.8国際女性デー アピール街宣

- 日 時 2023年3月7日(火) 18:00～
- 場 所 JR大宮駅東口駅頭
- 内 容 ・アピール採択  
・バラの配布 等

## 3.8国際女性デー 全国統一行動 中央集会

- 日 時 2023年3月8日(水) 18:15～
- 場 所 銀座ブロッサム中央会館ホール
- 規 模 1,000人以上(対面450人/WEB550人以上)
- 内 容 アピール採択 等

## 現在予定される3月の日程表です

3月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	水	埼玉労働局「第3回地方労働審議会」
2日	木	第2回ジェンダー平等・多様性推進委員会(15:00～・連合埼玉会議室)
3日	金	第5回ライフサポートステーション運営会議(15:00～・あけぼのビル502)
4日	土	
5日	日	
6日	月	
7日	火	①第4回四役・執行委員会(10:00～・ときわ会館) ②2023春季生活闘争2次行動(18:00～・大宮駅東口)
8日	水	議員会議「第2回幹事会」(18:00～・連合埼玉会議室)
9日	木	①ネット21東日本大震災特別事業ママランチ会(11:00～・ロイヤルパインズホテル浦和) ②JEC連合「第17回労使懇談会」(13:15～・ときわ会館) ③秩父地域協議会「第5回幹事会」(18:00～・秩父勤労者福祉センター)
10日	金	①中央労金埼玉県本部運営委員会(10:00～) ②埼玉県雇用支援機構「第2回運営委員会」(13:30～15:00)
11日	土	
12日	日	
13日	月	埼玉労働協「防災セミナー」(13:30～・ときわ会館)
14日	火	
15日	水	
16日	木	
17日	金	
18日	土	
19日	日	
20日	月	第2回拡大アドバイザー会議(14:00～17:00・ときわ会館)
21日	火	
22日	水	連合「地方連合会事務局長会議」(13:30～・連合本部)
23日	木	2023春季生活闘争4次行動 西部ブロック(18:00～・川越駅東口デッキ)
24日	金	2023春季生活闘争4次行動 東部ブロック(18:00～・南越谷駅南口)
25日	土	さいたま地域協議会「四役会」(18:30～・ネット21大宮)
26日	日	
27日	月	2023春季生活闘争4次行動 北部ブロック(18:00～・熊谷駅北口)
28日	火	①埼玉シニア連合「結成30周年ウォーキング」(9:00～・越谷市) ②2023春季生活闘争4次行動 南部ブロック(18:00～・川口駅東口デッキ)
29日	水	
30日	木	①埼玉労働協「理事会」(10:00～・ときわ会館) ②ときわ会館「理事会」(13:00～・ときわ会館)
31日	金	第20回統一地方選挙(前半戦)告示日

## 一般財団法人 埼玉県勤労者福祉センター ときわ会館

感染症拡大防止対策を継続して実施中!!

会議室の定員について・・当面の間は以下の通りにて承っております ※詳細はお問合せください

大ホール…100名様以内  
中ホール…20名様以内501・502…50名様以内  
小ホール…14名様以内ご宿泊:3,500円(税込)より  
(上記は勤労者に該当する場合)

5階大ホール



5階中ホール



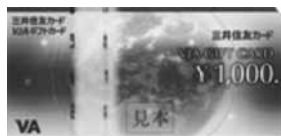
客室(ツイン)



ときわ会館全景

## 【VJAギフトカード、クオカード、ギフト商品等】の販売について

500円～10,000円まで販売しております



VJAギフト券(1,000円券のみ)



530円(500)



1,040円(1,000)



530円(500)



10,000円

ご注意:在庫数に限りがありますので  
予めお問合せください

## アクセス



JR浦和駅、北浦和駅より徒歩18分 バス:浦和駅西口より6分(市役所前か市役所北口) 下車徒歩3分)

〒330-0061埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21 TEL 048(822)4411



### <生活改善>

3月に入り、2023春季生活闘争が大手組合から山場を迎えます。とりわけ、急激な物価高により、「賃上げ」の機運が高まっており、組合員のみならず、社会全体がその「交渉のゆくえ」に注目しています。

その「賃上げ」が注目されているのは、私たちの生活・暮らしに直結しているからであり、私たちの「生活改善」の重要な取り組みでもあります。

一方で、今年の春は、4年に1度の「第20回統一地方選挙」がおこなわれます。実際おこなわれる自治体は、埼玉県議会と63の市町村の内33の市町議会が対象となっています。

具体的な日程は、3月31日からの「埼玉県議会議員選挙」と「さいたま市議会議員選挙」、そして4月16日からの「各市議会議員選挙」、4月18日からの「各町議会議員選挙」と日程も決まっています。

今月末から始まる自治体選挙は、地域で働き、暮らす人々の「生活改善」につながる事が求められる選挙でもあります。今回の「第20回統一地方選挙」について、私たち労働組合が関わる意義について考えてみたい。

### <地域と住民の暮らしを守る>

連合は、第20回統一地方選挙において、「地域と住民の暮らしを守るため、働く者・生活者の立場に立った政治勢力の拡大と地域基盤の強化、および政策実現のために極めて重要な闘い」と位置づけています。

私たち働く者にとって、地域社会が、安全で安心して暮らしていける場所であることは、大変重要なこととなります。そのためには、「地域と住民の暮らしを守る」ことが重要な取り組みになります。

一方で、私たちの働く職場については、必ずしも「働く職場」と「生活する地域」とが一致しないケースもあります。

それぞれの労働組合が、「現場」を原点に取り組んでおり、各々の組合員が暮らす各自治体に対しても、関心を向けながら、「地域社会」の暮らしを守る取り組みを進めることは、難しい部分もあります。

だからこそ、各構成組織（産別）の枠を超えて、地域でつながる「連合の役割」が重要になります。

連合埼玉では、「地域で働き、暮らす労働者や市民の抱える問題を解決すること」を目的に、県内を12のブロックで分けた「地域協議会」をつうじて、それぞれの地域で加盟している労働組合の皆さんの協力の下、地域社会の暮らしを守る政策・制度を実現するため、今回の統一地方選挙に臨んでいます。

### <地域社会のための政策実現>

地域で働き、暮らす労働者や市民の抱える問題を解決

するためには、各自治体（県市町村）への政策・制度による要請が必要になります。

その政策・制度要請は、地域で暮らす組合員の声を政策要請として届けることであり、組合員の暮らしへの応援にもなります。

一方で、政策・制度要請は、その要請内容が「組合員の声ですよ」という、組合員の声を合意形成することが、労働運動になります。

労働組合が会社に対して、賃上げなどの処遇制度や勤務制度の改善などを、組合員の合意形成のもと、要求書を提出して交渉をおこなっていますが、政策・制度要請は、自治体への社会的な地域交渉でもあります。

その社会的な要請行動の役割を担っているのが、それぞれの自治体議員になります。

従って、私たちの働く立場にたった自治体議員と連携することが、より政策・制度の実現につながり、実現力が高まることとなります。

そのために、それぞれの自治体で擁立する組織内候補者や推薦候補者と理念・目的・政策を確認し、そして働く仲間や職場の実態を最もよく理解し、「人物重視・候補者本位」に推薦をおこない、今回の統一地方選挙に臨んでいきます。



越谷市「レイクタウン湖畔と水辺のまちづくり館」

### <まちづくり>

越谷市のJR越谷レイクタウン駅前に広がる「レイクタウン湖畔周辺」には、芝生の広場や公園、越谷の観光情報を発信したり、地域の活動を支援する施設「水辺のまちづくり館」があります。

長年、周辺の問題となっていた中川・綾瀬川・元荒川流域からの水害を防ぐ目的から、大規模な治水施設として大規模調節池を造成しました。

さまざまな自治体が水害を防ぐための調整池はありますが、その中でも、池の周辺に商業施設や集合住宅、公園などを誘致・建設し、調節池の周辺一帯をニュータウンとして整備して取り組んでいることが特徴となっています。

地域社会で抱える課題には、地球温暖化、自然災害、少子高齢化などの社会課題を解決しながら、地域で暮らす住民と持続可能な「まちづくり」が必要となります。「統一地方選挙」をつうじて、私たちの「地域社会の課題とまちづくりを、どのように進めていくのか」という視点からも、「第20回統一地方選挙」に注目したい。

2023.2.15